

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月11日
【四半期会計期間】	第22期第3四半期（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）
【会社名】	アクセルマーク株式会社
【英訳名】	AXEL MARK INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 尾下 順治
【本店の所在の場所】	東京都中野区本町一丁目32番2号
【電話番号】	03 - 5354 - 3351
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務本部長 野口 仁
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区本町一丁目32番2号
【電話番号】	03 - 5354 - 3351
【事務連絡者氏名】	執行役員経理財務本部長 野口 仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第21期 第3四半期 連結累計期間	第22期 第3四半期 連結累計期間	第21期
会計期間	自平成24年 10月1日 至平成25年 6月30日	自平成25年 10月1日 至平成26年 6月30日	自平成24年 10月1日 至平成25年 9月30日
売上高 (千円)	2,573,305	2,572,078	3,523,715
経常利益 (千円)	30,943	51,314	79,313
四半期(当期)純利益 (千円)	21,382	25,153	69,452
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	21,382	25,153	69,452
純資産額 (千円)	1,516,558	1,589,465	1,564,351
総資産額 (千円)	1,876,992	1,972,255	1,957,529
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.89	5.75	15.89
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.87	5.65	15.76
自己資本比率 (%)	80.8	80.6	79.9

回次	第21期 第3四半期 連結会計期間	第22期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額 (円)	8.35	4.83

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

## 2【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。  
また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（モバイルゲーム事業）

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアクセルゲームスタジオ株式会社が新たに設立した株式会社Interrapsを連結の範囲に含めております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、日本国内におけるスマートフォン端末の普及が拡大を続けており、MM総研の調査によると平成26年3月末におけるスマートフォン契約数は5,734万件で携帯電話契約数の47.0%（平成25年9月末時点から4.8%上昇）となっております。さらに、平成31年3月末にはスマートフォン契約数が1億件を突破するとみられており、今後も契約数の増加によりスマートフォンアプリ市場の拡大が見込まれております。

このような市場環境の下、モバイルゲーム事業においては、当第3四半期連結累計期間に新規ゲームタイトル及び新サービス開発への投資を積極的に拡大してまいりました。社内体制を新規開発に重点シフトすると同時に、高品質なゲームを開発するラインを増やす新たな試みとして外部からの招へいにも取り組んでまいりました。その結果、ネイティブゲームアプリを開発する株式会社Interraps（孫会社）を設立し新たな開発ラインを確保いたしました。広告事業ならびにコンテンツ事業においては、スマートフォン向けサービスの売上拡大に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,572,078千円（前年同期比0.0%減）、営業利益は54,065千円（前年同期比166.1%増）、経常利益は51,314千円（前年同期比65.8%増）、四半期純利益は25,153千円（前年同期比17.6%増）となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

#### （モバイルゲーム事業）

モバイルゲーム事業につきましては、「Mobage（モバゲー）」などにおいて提供しているブラウザゲーム「天空のレギオン」や「王様ゲーム - 共闘 -」など既存タイトルの売上は安定的に推移しております。さらに、当第3四半期連結会計期間においては、平成26年6月20日に株式会社gloopsとの協業タイトル「三国志トライブ」をリリースいたしました。本タイトルは、当連結会計年度第4四半期以降の収益貢献を期待しております。

新規ゲームタイトルへの投資では、平成26年4月11日にネイティブゲームアプリを開発する株式会社Interraps（孫会社）を設立し新たな開発ラインを増やしました。また、人員の配置転換や新規採用、不採算タイトルからの撤退により人的リソースを新規開発へ集中させ、今後の事業拡大に向けた投資を積極的に拡大いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,378,716千円（前年同期比5.0%増）、セグメント利益は148,026千円（前年同期比142.2%増）となりました。

#### （コンテンツ事業）

コンテンツ事業につきましては、フィーチャーフォン向け売上については引き続き減少する傾向が継続しております。今後のスマートフォン向けサービス拡大のため、スマートフォンアプリ版のコミックサービスの新規開発を行ってまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は401,060千円（前年同期比29.9%減）、セグメント利益は28,598千円（前年同期比57.1%減）となりました。

#### （広告事業）

広告事業につきましては、フィーチャーフォン向け広告の売上が引き続き減少する中、スマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の売上拡大に注力してまいりました。「ADroute」は、クライアントからの出稿ニーズの高まりを背景に売上を拡大させており、当第3四半期連結会計期間の広告事業の売上は直前四半期比26.8%増と大きく伸張いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は794,703千円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は51,246千円（前年同期比29.0%減）となりました。

( 2 ) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、のれんが償却により84,510千円減少したものの、現金及び預金が106,792千円増加したこと等により前期末に比べて14,726千円増加し、1,972,255千円となりました。

負債については、未払法人税等が14,994千円増加したものの、短期借入金の返済9,250千円、賞与引当金が18,105千円減少したこと等により前期末に比べて10,388千円減少し、382,789千円となりました。

純資産については、四半期純利益25,153千円の計上により、前期末に比べて25,114千円増加し、1,589,465千円となりました。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,370,900	4,370,900	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数 100 株
計	4,370,900	4,370,900	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	4,370,900	-	563,900	-	148,821

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,370,500	43,705	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 400	-	-
発行済株式総数	4,370,900	-	-
総株主の議決権	-	43,705	-

(注)「単元未満株式」の欄には、自己株式33株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アクセルマーク株式会社	東京都中野区本町一丁目32番2号	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

(注)当社は、単元未満自己株式33株を保有しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	968,256	1,075,049
売掛金	497,586	491,685
仕掛品	3,803	-
貯蔵品	1,323	1,101
その他	34,995	41,326
貸倒引当金	13,956	13,532
流動資産合計	1,492,008	1,595,629
固定資産		
有形固定資産	23,987	20,671
無形固定資産		
のれん	371,555	287,044
その他	1,906	3,580
無形固定資産合計	373,462	290,625
投資その他の資産		
敷金及び保証金	68,071	65,328
その他	0	0
投資その他の資産合計	68,071	65,328
固定資産合計	465,520	376,625
資産合計	1,957,529	1,972,255
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	210,702	216,901
短期借入金	9,250	-
未払法人税等	10,021	25,016
賞与引当金	35,511	17,405
ポイント引当金	12,228	11,704
その他	114,831	111,762
流動負債合計	392,546	382,789
固定負債		
その他	632	-
固定負債合計	632	-
負債合計	393,178	382,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	116,518	91,364
自己株式	-	25
株主資本合計	1,564,152	1,589,281
新株予約権	198	184
純資産合計	1,564,351	1,589,465
負債純資産合計	1,957,529	1,972,255

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	2,573,305	2,572,078
売上原価	1,560,799	1,578,016
売上総利益	1,012,506	994,061
販売費及び一般管理費	992,189	939,996
営業利益	20,316	54,065
営業外収益		
受取利息	80	659
受取配当金	33	-
助成金収入	11,261	-
その他	2,517	204
営業外収益合計	13,892	864
営業外費用		
支払利息	279	93
株式上場関連費用	2,948	2,386
解約違約金	-	964
その他	37	169
営業外費用合計	3,265	3,614
経常利益	30,943	51,314
税金等調整前四半期純利益	30,943	51,314
法人税、住民税及び事業税	9,560	26,161
法人税等合計	9,560	26,161
少数株主損益調整前四半期純利益	21,382	25,153
少数株主利益	-	-
四半期純利益	21,382	25,153

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,382	25,153
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	21,382	25,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,382	25,153
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるアクセルゲームスタジオ株式会社が新たに設立した株式会社Interrapsを連結の範囲に含めております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
給料手当	337,704千円	332,417千円
広告宣伝費	93,953	47,572
のれん償却額	105,734	84,510
賞与引当金繰入額	50,023	46,744
減価償却費	5,242	4,325
貸倒引当金繰入額	77	382

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	7,285千円	5,060千円
のれん償却額	105,734	84,510

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年12月21日付で、自己株式の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式と資本剰余金がともに47,704千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,312,785	571,722	688,797	2,573,305	-	2,573,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	4,175	4,175	4,175	-
計	1,312,785	571,722	692,973	2,577,481	4,175	2,573,305
セグメント利益	61,109	66,620	72,137	199,867	179,550	20,316

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	199,867
のれんの償却額	46,113
全社費用(注)	133,437
四半期連結損益計算書の営業利益	20,316

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業 (注)	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,378,716	401,060	792,302	2,572,078	-	2,572,078
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	2,400	2,400	2,400	-
計	1,378,716	401,060	794,703	2,574,479	2,400	2,572,078
セグメント利益	148,026	28,598	51,246	227,871	173,806	54,065

(注)平成26年9月期第1四半期より、従来の「ソーシャルゲーム事業」から「モバイルゲーム事業」へとセグメント名称を変更しています。

なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	227,871
のれんの償却額	45,389
全社費用（注）	128,417
四半期連結損益計算書の営業利益	54,065

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成24年10月1日 至平成25年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成25年10月1日 至平成26年6月30日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円89銭	5円75銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	21,382	25,153
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	21,382	25,153
普通株式の期中平均株式数（株）	4,370,900	4,370,883
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	4円87銭	5円65銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益調整額（千円）	-	-
普通株式増加数（株）	21,739	83,378
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

（注）当社は、平成25年4月1日付にて普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っております。

このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月11日

アクセルマーク株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 憲一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石井 広幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアクセルマーク株式会社の平成25年10月1日から平成26年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アクセルマーク株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。